

電源立地地域対策交付金により造成した基金の公表

令和5年3月末現在

基金の名称	女川町電源立地促進対策交付金事業基金
令和4年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和4年度末残高 (交付金相当額)	47,622,826 円 (47,622,826 円)
基金事業の概要	旧電源立地促進対策交付金で整備した公共用施設（中学校体育館、ごみ処分場、火葬場、町立病院（地域医療センター）、防災無線施設、第二多目的運動場、貯水槽、最終処分場、町道浦宿猪落線）について、災害や老朽化等の事由によりその機能を十分に発揮できなくなった場合や現状のまま放置すれば老朽化、凍腐化等によりその機能を十分に発揮できなくなる恐れがある場合に、当該施設を原形に復するために必要な補修により低下した施設の価値を回復するための事業に係る経費に充当するための基金造成。
基金の処分期間	施設が存続する期間
基金事業の目標	災害や老朽化等によりその機能を十分に発揮できなくなった、または、そのおそれのある公共用施設を修繕・更新し、原形に復旧させることにより当該施設の機能低下を防止し、利用者の利便性向上を図ることを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和4年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和4年度末残高 (交付金相当額)	32,044,022 円 (32,044,022 円)
基金事業の概要	女川町防災広報無線デジタル化整備事業、消防団車両整備事業に充当するための基金造成。 ・ 防災広報無線デジタル化整備事業 防災行政無線復旧デジタル化整備工事 ・ 消防団車両整備事業
基金の処分期間	令和8年度末
基金事業の目標	総務省の技術基準値の改定に伴い、改定前に製作された無線機は、令和4年12月以降利用できなくなることから、防災広報無線デジタル化整備事業を実施するほか、老朽化した消防団車両の更新整備を目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和4年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和4年度末残高 (交付金相当額)	83,188,584円 (83,188,584円)
基金事業の概要	女川町総合体育館等改修工事に充当するための基金造成。 ・総合体育館、庭球場、野球場、第二多目的運動場等の改修工事 (予定)
基金の処分期間	令和5年度末
基金事業の目標	生涯スポーツ意識の高揚と住民の健康・体力づくりへの関心を高めることを目的に、その活動の場としての施設整備を行い、総合運動場内に総合体育館、庭球場、野球場、第二多目的運動場等を整備しているが、東日本大震災により運動場内の施設も被害を受けたところであり、また、各施設とも各所に老朽化が認められる。 よって、これらの危険箇所等を改修し、誰でも気軽に安心・安全にスポーツを楽しみ、健康的な生活を維持・増進できる環境整備が図られることにより、生涯スポーツの普及が推進されることを目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和4年度基金造成額 (交付金相当額)	191,270,000円 (191,270,000円)
令和4年度末残高 (交付金相当額)	500,009,690円 (500,009,690円)
基金事業の概要	社会教育施設等の整備に充当するための基金造成。 ・勤労青少年センター整備事業(予定)
基金の処分期間	令和6年度末
基金事業の目標	現在、町内に設置している社会教育施設である女川町勤労青少年センターは、昭和56年3月竣工、供用開始以来、町内のコミュニティ施設として多くの町民に利用されてきたが、経年劣化が激しく、平成30年度において施設の診断調査を実施したところ、改修及びランニングに係るコストが将来的に高額となるため、現有施設を解体し、新たな社会教育施設等の整備を目指し、計画的な基金運用を行うことを目標とする。

基金の名称	女川町電源立地地域対策交付金事業基金
令和4年度基金造成額 (交付金相当額)	—
令和4年度末残高 (交付金相当額)	30,669,931円 (30,669,931円)
基金事業の概要	女川スタジアム周辺の整備に充当するための基金造成。 ・女川スタジアム屋外倉庫建築、屋外南トイレ建築等周辺の整備工事(予定)
基金の処分期間	令和5年度末
基金事業の目標	令和2年度に完成した女川スタジアムにおいて、単体でのスポーツ施設ではなく、多くの町民が集うコミュニケーションの場として、誰でも気軽に安心・安全にスポーツを楽しみ、健康的な生活を維持・増進できる環境整備を図り、生涯スポーツの普及が推進されることを目的とし、計画的な基金運用を行うことを目標とする。